

# Cente Technical Information

発行番号	001-0061	Rev	第1版	発行日	2011/11/04
題名	アーカイブ属性が0のファイルを正しく処理できない不具合について				
情報分類	技術情報				
適用製品	・Cente FileSystem Ver4.01～Ver6.00 ・Cente exFAT FileSystem Ver2.00				
影響API	fopen, fopen_uni, remove, remove_uni, rename, rename_uni, move, move_uni, chk_dsk				
関連資料	なし				
<b>【現象】</b> アーカイブ属性が1に設定されていないファイルを指定した場合、正しく削除できません。不正なディレクトリエントリが残ってしまいます。 "w"モードでfopenした場合、既存ファイルは開けるが、不正なディレクトリエントリが残ってしまいます。 又、chk_dsk()ではそのファイルに対してチェックができません。 尚、Cente exFAT FileSystem単体ではこの不具合は該当しません。 Cente FileSystemと結合した場合に発生します。					
<b>【原因】</b> ファイルであることを識別する手段としてアーカイブ属性が1である事を利用していました。					
<b>【回避方法】</b>					
■運用での回避方法 アーカイブ属性が0のファイルに対しては chg_attr APIを使ってアーカイブ属性を1に設定した後 該当API を利用して下さい。 尚、fopen "r", "r+", "a", "a+" の場合はこの不具合には該当しません。					
■プログラム修正による回避方法 fs_dir.cの以下の関数に修正が必要です。 fs_find_dir_entry_sub()  fs_dir_uni.cの以下の関数に修正が必要です。 fs_find_dir_entry_uni_sub()  修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。					
以上					